

試合番号 : 211	試合会場 : スワンドーム (岡谷市民総合体育館)	観客数 : 1,780		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:48	試合時間 : 01:48		
主審 : 服部 篤史	副審 : 菅原 潤			
VC長野トライデンツ	通算 1勝 22敗 ポイント: 6	21 第1セット 25 22 第2セット 25 25 第3セット 27 第4セット 第5セット	ウルフドッグス名古屋	通算 17勝 6敗 ポイント: 51
監督コメント	ホームゲームでのたくさんのご声援、ありがとうございます。第1セット、ウルフドッグスの高いブロックに苦められリズムを掴むことができませんでした。途中交代の工藤が良いリズムを作ってくれましたが、セット終盤の失点の結果に繋がってしまいました。良い場面は多く出ていたので、明日は良いイメージを持ちスタートからしっかりと戦う準備をしていきたいと思っております。明日も熱いご声援をどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。	0	3	監督コメント
要約レポート	VC長野トライデンツが長野県岡谷市スワンドームにウルフドッグス名古屋を迎えての一戦。第1セットスタート、WD名古屋は高梨の強烈なサーブから王、クレクの連続ブロックで点差をつける。5-8で3点差を追うVC長野は備の好リシーブから修が得点し流れに乗りかかると、次のラリーでWD名古屋セッター永露はツーアタックでそれを断ち切る。終盤、WD名古屋は王が2つのブロックと2つのアタックを決め、藤原の強打で追いつくがVC長野は藤原のサーブを21で先取した。第2セット、WD名古屋・永露はトスを振り分け、一方VC長野・下川は山田、トレントの連攻で相手を惑わす。中盤、VC長野は工藤のアタックやトレントのブロックで点差を縮めると、WD名古屋はクレクにボールを集め突き放しにかかる。終盤VC長野は途中交代の中村がアタックやブロックで得点し踏ん張るが、WD名古屋は山崎の2連続サーブエース、さらに最後はネット際のボールを永露が押し込んで25-21でWD名古屋がセットを連取した。第3セット、VC長野は山田、工藤を中心に攻撃を組み立てリードして試合を進める。WD名古屋はクレクを中心に攻撃を仕掛け、中盤3点差から17-17と追いつく。終盤、VC長野は藤原のサーブエースで23-21としたが、WD名古屋は王のサーブエースやクレクのアタックでデュースにもち込み、最後は高梨が難しいボールを上手く処理して27-25でこのセットも取り勝利した。			

試合番号 : 212	試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)	観客数 : 1,413		
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:52	試合時間 : 01:52		
主審 : 高橋 宏明	副審 : 慈眼 雅啓			
東レアローズ	通算 10勝 13敗 ポイント: 27	13 第1セット 25 18 第2セット 25 25 第3セット 20 15 第4セット 25 第5セット	日本製鉄堺プレイヤーズ	通算 14勝 9敗 ポイント: 41
監督コメント	今日の試合は第1、第2セットは細かいプレーの精度が低く、自分達で苦しい状況を作ってしまったと思います。また、日本製鉄堺プレイヤーズの方が粘り強く、この部分でも負けていたように感じます。明日、もう一度戦うチャンスがありますので、しっかりと立て直せるよう準備して参ります。本日はたくさん応援ありがとうございます。	1	3	監督コメント
要約レポート	東レアローズと日本製鉄堺プレイヤーズ、両チームとも上位進出するためには負けられない一戦。第1セット、パノン、バーノンの2連続サーブエースを皮切りに日鉄堺BZが先行する。点差を縮めたい東レはパダルや徐のアタックで対抗するも、日鉄堺BZは渡邊がブロックを決め、流れを譲らない。終盤にはリフバー重畳が効果的なサーブを打ち、勢いに乗った日鉄堺BZがセットを先取した。第2セット、東レはセッター酒井のツーアタックやサーブエース、日鉄堺BZは高野や樋口のアタック等で拮抗するが、中盤、パノンや樋口のブロックをきっかけに日鉄堺BZがリードする。対抗する東レは流れるような連携から富田が力強いアタックを決め、会場を大きく盛り上げるも、パノンが要所で得点を稼ぎ、日鉄堺BZがセットを連取した。第3セットはスタートから両チームの好リシーブを決め、会場を大きく盛り上げる展開。東レはパダルの2連続サーブエースで流れを引き寄せ、それに呼応した富田のアタックや李のサーブエースが決まる。終盤、渡邊を中心に安定したサーブレシーブから得点を積み重ねた東レがセットを取り返した。第4セット、日鉄堺BZは渡邊のサーブエースから連続得点でリードしていく。東レは西本がブロックやアタックでチームを鼓舞するも、レシーブで粘り続け、パノンを中心に攻め続けた日鉄堺BZがこのセットを取り返し、勝利した。			

試合番号 : 213	試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館	観客数 : 3,106		
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:40	試合時間 : 01:35		
主審 : 千代延 靖夫	副審 : 小松 剛			
ジェイテクトSTINGS	通算 7勝 16敗 ポイント: 21	20 第1セット 25 21 第2セット 25 17 第3セット 25 第4セット 第5セット	パナソニックパンサーズ	通算 20勝 1敗 ポイント: 59
監督コメント	本日起こっていただきました皆様、JTEKTファンの皆様、両チームのバレーボールを応援してくださいました皆様、ありがとうございます。我々は我慢強くプレーし、チャンスを待ちましたが、パナソニックパンサーズの攻撃を阻止できませんでした。明日も応援していただきます皆様に応援に来てよかったと思える試合をしたいと思っております。	0	3	監督コメント
要約レポート	ジェイテクトSTINGSがホームにパナソニックパンサーズを迎えての一戦。第1セット、序盤からパナソニックが山内のスパイクとブロックなどでリードする展開となる。ジェイテクトも高橋(慶)やウルナウトのスパイク、村山のブロックで追い上げる。終盤にはジェイテクトは藤本のスパイクなどが決まり1点まで差を詰めるも、長いラリーを制したパナソニックがセットを先取した。第2セット、序盤からジェイテクトは福山、パナソニックは大家、ジェスキーがスパイクを決め、一進一退の攻防を繰り返す。中盤にはパナソニック西田、ジェイテクトは高橋(慶)が強烈なスパイクを決め、会場を沸かせた。最後はパナソニックの山内がスパイクを決めてセットを連取した。第3セット、パナソニックはジェスキーのスパイクやブロックを含む連続得点で勢いに乗る。中盤にはレバロ山本が粘りのレシーブなどで勢いそのままに相手を突き放した。ジェイテクトも今日16得点の高橋(慶)がスパイクを決め食らいつくも、最後はパナソニック山内がスパイクを決め、ストレートで勝利した。			

試合番号 : 214	試合会場 : エピコアリーナふくやま (福山市総合体育館)	観客数 : 1,090		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:25	試合時間 : 01:25		
主審 : 國頭 亮太	副審 : 林 淳一			
JTサンダーズ広島	通算 16勝 7敗 ポイント: 48	25 第1セット 19 25 第2セット 16 25 第3セット 14 第4セット 第5セット	ヴォレアス北海道	通算 2勝 21敗 ポイント: 7
監督コメント	最終、効果的なサーブを打ち続けることができ、優位なゲーム運びができました。しかしヴォレアスの緩急をついたサーブに崩される展開を与えてしまったので、明日に向けて改善しなければなりません。そしてデビュー戦となった高木がそれぞれチームを十分に發揮してくれたことは、これからのリーグ戦を戦う上でチームにとって非常にポジティブな要素だ。ホームゲーム、沢山のご声援ありがとうございます。	3	0	監督コメント
要約レポート	現在2連勝と勢いに乗るJTサンダーズ広島と、ここから巻き返しを狙うヴォレアス北海道の一戦。第1セット、序盤にJT広島はラッセル、江が豪快なアタックを決めてリードした。ヴォレアスは戸田、ルークがアタックを決めて追いつきを見せる。中盤にJT広島のセッター前田が、丁寧なトスから江にボールを集めてリードをさらに広げた。粘るヴォレアスは流れを変えようと山岸、古賀を投入して、山岸の巧みなトスにルークがアタックを決めるなど粘りを見せた。終盤にJT広島が、江のアタックや新井がサーブを決めて先取した。第2セット、第1セットの勢いそのままJT広島は、セッター前田が相手ブロックに的を絞らせないトスワークを展開してラッセル、新井、三輪の強烈なアタックでリードを大きく広げた。ヴォレアスは張、戸田、米村のアタックで粘りを見せて追いついたが、リードが大きすぎて追いつくことができない。最後にJT広島は途中出場の西がアタックとブロックを決めて連取した。第3セット、序盤からJT広島は、レバロ高木が内定選手として初出場を果たし、的確な位置取りから強打レシーブを連発して存在感を見せる。そして江がブロックの上から放つ強烈なアタックと安永のブロックでリードを広げた。さらに中盤に山本がサーブエースを決めるなど大きくリードを広げた。粘るヴォレアスは、本陣のツーアタックと張がアタックを決めるなど粘りを見せた。終盤にJT広島が山本のサーブエースと平井がアタックを決めて会場を盛り上げ、最後は阿部がブロックを決めて、地元広島の大応援を力にホームゲームを連勝で飾った。			